

# 令和元年度 第69回群馬県高等学校柔道選手権大会 兼 第68回全国高等学校柔道大会群馬県予選実施要項

主催 主管 後援	群馬県高等学校体育連盟 群馬県高等学校体育連盟柔道専門部 群馬県柔道連盟	群馬県教育委員会
日時	令和元年5月25日(土) 男女個人試合 6月15日(土) 男女団体試合	午前 9時30分開始 午前10時00分開始
会場	ALSOK群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館 第一道場 前橋市関根町800 電話 027-234-5555	
競技規定	国際柔道連盟試合審判規定(最新版)ならびに(公財)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。 (1) 試合時間は団体試合、個人試合とも4分とする。 (2) 優勢勝ちの判定基準は、「技有」または「僅差」以上とする。※僅差は「指導差2」とする。 (3) 「技の内容」と「指導」の重みは以下の順とする。 一本勝ち=反則勝ち>技有>僅差	
競技方法	(1) 団体試合 ア トーナメント戦を行う。ただし、女子について、参加校が6校以下の場合、リーグ戦を行う。リーグ戦において、引き分けの場合は代表戦によって必ず勝敗を決する。 イ 団体試合のチーム対チームの勝敗は以下の項目に従って決定する。 ① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。 ② ①で同等の場合は「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。 *ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。 ③ ②で同等の場合は「技有」による勝ちが多いチームを勝ちとする。 ④ ③で同等の場合は代表戦を行う。 *代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。 *代表戦における優勢勝ちの判定基準は「技有」または「僅差」以上とする。 ただし勝敗が決しない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)を時間無制限で行う。 延長戦の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。	
引率・監督	(2) 個人試合 ア トーナメント戦を行う。 イ 試合終了時に得点差のない場合は、時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア方式)を行い、必ず勝敗を決する。なお、延長戦では「技有」以上の得点、または「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。	
参加資格	(1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(但し、公立学校にあつては教員とする。) (2) 選手は必ず、当該校の引率責任者に引率され、引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。 (3) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。 (4) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。	
	(1) 参加選手は本連盟柔道専門部に登録した者であつて、平成12年4月2日以降に生まれた者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。 (2) チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。 (3) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。但し、一家転住の場合は特例として参加を認める。 (4) 参加選手は、予め健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。	

出場制限	<p>(1) 団体試合 1校1チーム(定時制課程、通信制課程が出場する場合は、2または3チーム) 男子については監督1名、選手5名、補欠1名、計7名とする。 女子については監督1名、選手3名、補欠1名の計5名とする。</p> <p>(2) 男子個人試合 ア 1校監督1名、選手各階級3名以内の計15名以内とする。 イ 体重別とする。階級は60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、100kg級、100kg超級の7階級とする。</p> <p>(3) 女子個人試合 ア 1校監督1名、選手の出場数は制限しない。 イ 体重別とする。階級は48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、78kg級、78kg超級の7階級とする。</p>
表彰	<p>(1) 男子団体試合優勝校に優勝旗、優勝カップ(持ち回り)とメダルを、女子団体試合優勝校に優勝カップ(持ち回り)とメダルを授与する。 (2) 個人試合優勝者にメダルを授与する。 (3) 団体試合、個人試合の1位から3位入賞校(者)に賞状を授与する。 (女子団体戦がリーグ戦の場合には第4位まで表彰する)</p>
参加料	<p>団体試合 1チーム 3,500円      個人試合 1名 1,000円 大会当日に受付で監督が納入する。</p>
申し込み	<p><u>5月17日(金)までに必着。下記事務局にメールと郵送の両方で申し込む。</u> 〒370-0861 群馬県高崎市八千代町2丁目4番1号      電話 027-324-0074 高崎高校 田中 利明      メールアドレス toshi-tanaka@edu-g.gsn.ed.jp</p>
組合せ会議等	<p>5月22日(水)午後1時30分から県立渋川青翠高等学校(渋川市渋川3912-1)で常任委員会を行う。午後2時30分から常任委員、各校代表者で組み合わせ抽選を行う。</p>
選手変更	<p>個人試合の選手の変更は認めない。 大会前日の午後5時までに、委員長に連絡する。 団体試合の変更は、男子1名、女子1名を限度とする。伝染病その他天災による場合は特例を認める。 大会当日、当該校長の証明書、医師の診断書、柔道整復師の証明書のいずれかを委員長に提出する。</p>
計量 受付	<p>5月25日(土)午前8時10分～9時00分までに試合会場で行う。(時間内計量) 5月25日(土)監督が午前8時10分～9時00分までに行う。 6月15日(土)監督が午前8時30分～9時20分までに行う。</p>
監督会議 その他	<p>5月25日は9時00分から、6月15日は9時30分から第4会議室で行う。 (1) 選手は所定のゼッケンをつける。 (2) 大会当日、引率者は各自昼食を用意する。 (3) 全国大会出場権 男女団体・男女個人試合の優勝校・優勝者は8月9日～8月13日に鹿児島県鹿児島市鹿児島アリーナで行われる第68回全国高等学校柔道大会に県代表としての出場権を得る。但し団体戦における選手の人数は、男子は5名、女子は3名が出場の条件となる。 (4) 男子団体試合上位8校及び女子上位4校は新人大会のシード権を得る。 (5) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。 1. 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場 の許可を得ること。 2. 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可と する。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。) 3. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。 4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書 を提出すること。</p>